

第2回浜松市立北部中学校運営協議会

令和6年11月18日(金)

14:00～ 会議室

校訓 「切磋琢磨 文武両道」

学校教育目標 「自分自身を『かけがえのない存在』であると思える生徒の育成」

目指す学校像 「あいさつができ、元気にあふれ、規律のある学校」

開会 開催要件(委員の過半数の出席)確認 <司会:村松、記録:鈴木>

1 会長あいさつ

2 校長あいさつ

3 議長の選出(出席した委員の中から互選)

4 前回会議録

5 熟議 <議長: >

- (1) ・本校の部活動について
・浜松市の今後の部活動の方針について
(教頭説明→質疑・応答→熟議→承認)

- (2) 学校評価の内容について
(教務主任説明→質疑・応答→熟議→承認)

6 報告

7 浜松市教育委員会から

8 今後の予定と連絡

11/18(月)	第2回運営推進協議会 14:00～
11/27(水)	夢講演会 13:20～(予定)
2/7(金)	第3回運営推進協議会 14:00～(予定)
3/18(火)	卒業式



令和6年度 第1回 北部中学校運営協議会 会議録

1. 開催日時 令和6年4月26日(金) 13時30分から15時30分
2. 開催場所 北部中学校 会議室
3. 出席委員 平間 一彦 遠藤 喜和 谷口幸子
高木早由里 佐野孝輔 石坂昌義
4. 欠席委員 なし
5. 学校支援コーディネーター 渡邊 薫
6. 学校 渡辺 博幸(校長) 村松 還(教頭) 茂 一美(CS担当職員)
神谷 待由紀(生徒指導主事) 鈴木 千佳(CSディレクター)
7. 傍聴者 なし
8. 会議録作成者 鈴木 千佳(CSディレクター)
9. 議長の選出 佐野委員が本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した
10. 協議事項
 - (1) 今年度の学校経営方針について
 - (2) いじめ防止等のための基本的な方針について
 - (3) 夢育やらまいか事業に対する意見書について
 - (4) 2年生 未来授業・勤労体験学習について
3年生 生き方指導について(進路に向けて)
11. 会議記録
 - ・ 司会の教頭より委員総数 6 人全員の出席があり開催要件が満たされ、会が成立する旨の報告があった。
 - ・ 初めに会長と校長より挨拶があり、続いて新規委員の任命が行われ、出席者が自己紹介を行った。
 - ・ 司会の教頭より学校運営協議会規則(第3・8・10・12・15条)について説明があった。
 - ・ 熟議に先立ち、委員の方々に授業・校内風景をご参観いただいた。

(1) 今年度の学校経営方針について

議長の指示により、校長から別紙資料に基づき今年度の学校経営方針について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・（目指す学校像に「あいさつができ、元気にあふれ、規律のある学校」とあるが）大人から挨拶をすると子供たちからも挨拶が返ってくる。まずは大人から挨拶をすることが大切では。子供たちの自発的な挨拶もそこから始まると思う。
- ・（学校経営の重点の一つとして『①授業の充実「主体的・対話的で深い学び」の実現のために昨年度同様に授業研究に取り組む』とあるが）生徒に対しては、より分かりやすい言葉や表現でかみ砕いて伝えた方が、理解しやすいように思う。
- ・（学校経営の重点の一つとして『③生徒主体の学校行事・部活動』とあるが）部活動はとても大事だと感じる。先生とも卒業してからの繋がりや絆を持つことができる。（平間委員）

PTA 活動の現状について質問が出されたため、石坂委員より報告がなされ、委員全員で現状を共有した。

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(2) いじめ防止等のための基本的な方針について

議長の指示により、生徒指導主事から別紙資料に基づきいじめ防止基本方針について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・（浜松市が認知している市内のいじめ件数 令和4年度-約4800件、令和5年度-約8500件について）
認知数が増えた理由は何か？（佐野委員）

→より小さな事案にも目を向け、細分化した結果。今年度もいじめの認知に努め、重大化させないように対応する。（生徒指導主事）

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(3) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

教頭から別紙資料に基づき、夢育やらまいか事業の趣旨説明および CS 加算分に対する意見書について説明があった。委員から子供のキャリア教育に寄与するように使ってほしいとの意見が出た。

(4) 2 年生/未来授業・勤労体験学習

3 年生/生き方指導について（進路に向けて）

佐野委員より 2 年生対象の未来授業についての説明があり、続いて CS 担当職員より 3 年生対象の生き方指導について（進路に向けて）の説明と協力の要請があった。

○その他の連絡事項 なし

○次回の開催日時

令和 6 年 11 月 18 日（月）14 時 00 分から

【表1】 現在の部員数

No	部活動	1年	2年	3年	合計	割合
1	卓球	11	8	9	28	8.1%
2	陸上競技	11	16	10	37	10.7%
3	サッカー	13	0	6	19	5.5%
4	剣道	8	4	5	17	4.9%
5	吹奏楽	20	7	3	30	8.7%
6	美術	24	17	14	55	15.9%
7	野球	8	6	10	24	7.0%
8	総合活動	0	1	3	4	1.2%
9	ソフトボール	0	6	3	9	2.6%
10	バレーボール	19	6	3	28	8.1%
11	男子ソフトテニス	8	6	11	25	7.2%
12	女子ソフトテニス	7	6	6	19	5.5%
13	女子バスケットボール	7	2	6	15	4.3%
14	男子バスケットボール	10	10	15	35	10.1%
	合計	146	95	104	345	
	加入率	85.4%	81.9%	78.2%	82.1%	
	総数	171	116	133	420	

【表2】 3年生引退後の部員数

対象	No	部活動	1年	2年	合計	割合
男女	8	総合活動	0	1	1	0.4%
女	9	ソフトボール	0	6	6	2.5%
女	13	女子バスケットボール	7	2	9	3.7%
男女	4	剣道	8	4	12	5.0%
女	12	女子ソフトテニス	7	6	13	5.4%
男女	3	サッカー	13	0	13	5.4%
男女	7	野球	8	6	14	5.8%
男	11	男子ソフトテニス	8	6	14	5.8%
男(女)	1	卓球	11	8	19	7.9%
男	14	男子バスケットボール	10	10	20	8.3%
女	10	バレーボール	19	6	25	10.4%
男女	2	陸上競技	11	16	27	11.2%
男女	5	吹奏楽	20	7	27	11.2%
男女	6	美術	24	17	41	17.0%
	合計		146	95	241	
	加入率		85.4%	81.9%	84.0%	
	総数		171	116	287	

保護者 様

浜松市立北部中学校長 渡辺 博幸

部活動数の適正化について(持続可能な部活動の在り方について)

初秋の候、保護者の皆様におかれましては、本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。本日2学期が始まり、学習はもちろんのこと、二大行事の成功に向けても精一杯に取り組み、子供と共に教職員も成長を実感できるようにしていきたいと考えております。

さて、各部活動の夏季大会やコンクール等では、子供たち一人一人が、これまでの活動によって成長した自分と、共に活動してきた仲間を信じるとともに、その活動を支える多くの大人に感謝しながら最後までやりきり、大きく成長する姿を見ることができました。

一方で、このように価値のある活動を、今後も持続していくため、より安全に活動できる環境を整えることが急務となっております。現在の部活動数と教職員数では、1つの部活動に対して、複数の顧問で指導することができない状況にあります。また、今後、大幅な学級数の変動はないと予想されているため、教職員数の増加を期待することができない状況にあります。

そこで、下記の通り段階的に活動を終了する部活動を設け、部活動数を削減することといたしました。

子供たちが活動している姿やその姿をご覧になっている保護者、地域の方々のことを思うと、断腸の思いではありますが、今後も安全に、そして、持続的に部活動を続けていくために、必要な決断であるということを、何とぞご理解いただきたく存じます。

今後につきましても、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等、部活動の持つ意義を大切にするとともに、その役割を持続的に果たすことができるよう改善していきたいと考えております。ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

記

1 活動を終える部活動と活動終了後の部活動数について

- ・活動を終える部活動は、以下の3つです。

総合活動部 ソフトボール部 女子バスケットボール部

- ・部活動数は、3つの部活動の活動が終了すると11となります。

2 活動を終える部活動の今後の活動について

- ・総合活動部

今後の生徒募集を取りやめ、今月一杯ぐらいまで活動を続けます。

- ・ソフトボール部

今後の生徒募集を取りやめ、現在の2年生が3年生となる令和7年度の夏季大会の終了まで活動を続けます。

- ・女子バスケットボール部

現在の1年生が3年生となる令和8年度の夏季大会の終了まで活動を続けます。なお、「令和8年度の夏季大会までの活動であること」、「令和8年度は生徒募集をしないこと」として、令和7年度は生徒募集を行います。

担当 村松 還(教頭)
TEL 053-471-4228

令和6年9月5日

校区小学校 6年生保護者 様

浜松市立北部中学校長 渡辺 博幸

北部中学校の部活動について

初秋の候、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、皆様方におかれましては、お子様の中学校への進学を間近に控え、各中学校の状況に高い関心を寄せられている時期であろうと思います。現在、本校では、部活動をより安全に活動できる環境を整えるため、部活動数の適正化（削減）を進めておりますので、下記のとおりお知らせいたします。

記

- 1 令和7年度の生徒募集をしない部活動
 - 総合活動部 … 今月一杯ぐらいまでで、活動を終わめます
 - ソフトボール部 … 令和7年度の夏季大会の終了をもって、活動を終わめます
- 2 令和7年度の生徒募集をするが、その後の活動について、以下のことを承知の上でご判断をいただきたい部活動
 - 女子バスケットボール部
 - ・令和8年度の夏季大会の終了をもって、活動を終わめます
(令和7年度の新入生にとっては、2年時の夏季大会が最後の大会となります。
なお、他の部に転部することは可能です)
 - ・令和8年度の生徒募集はしません
- 3 以上を踏まえて、令和7年度に生徒募集をする部活動
 - 男女
 - ・陸上競技部 ・野球部 ・サッカー部 ・剣道部
 - ・吹奏楽部 ・美術部
 - 男子
 - ・ソフトテニス部 ・バスケットボール部 ・卓球部
 - 女子
 - ・ソフトテニス部 ・バレーボール部
 - ・バスケットボール部（上記2参照）

担当 村松 還（教頭）
TEL 053-471-4228

休日の部活動の地域移行に向けた取組方針【概要】

背景と方向性について【第1章、第2章】

- 少子化や学校の働き方改革が進む中、部活動を従前と同様の体制で運営することは難しくなっており、学校や地域によっては存続が厳しい状況にある。生徒の豊かなスポーツ・文化芸術活動を実現するためには、学校と地域との連携・協働により、部活動の在り方に改革に取り組み、生徒や保護者の負担に十分配慮しつつ、持続可能な活動環境を整備する必要がある。
- 学校部活動の地域連携並びに地域の運営団体・実施主体による地域スポーツクラブ活動及び地域文化クラブ活動（以下「地域クラブ活動」という。）への移行に取り組む。地域クラブ活動は、学校の教育課程外の活動として、社会教育上の「社会教育」の一環として捉えることができ、また、スポーツ基本法や文化芸術基本法上の「スポーツ」「文化芸術」として位置付けられるものでもある。したがって、地域クラブ活動は、学校と連携し、学校部活動の教育的意義を継承・発展しつつ、スポーツ・文化芸術の振興の観点からも充実を図る。

市の検討経緯について【第1章】

- 有識者や保護者・学校運営協議会・学校・中学校体育連盟・中学校文化連盟・（公財）浜松市スポーツ協会・（公財）浜松市文化振興財団・学校教育部・市民部（文化振興担当）の代表で構成される浜松市地域部活動検討委員会を令和3年7月に設置し、本市における休日の部活動の地域移行について、国が示すガイドラインを踏まえ、検討を進めてきた。

市の方策について【第3章】

実施体制

- 地域クラブ活動協議会を令和5年度に設置し、持続可能で、スポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる環境を実現する具体的な方策を、取組方針に基づき、検討する。



活動

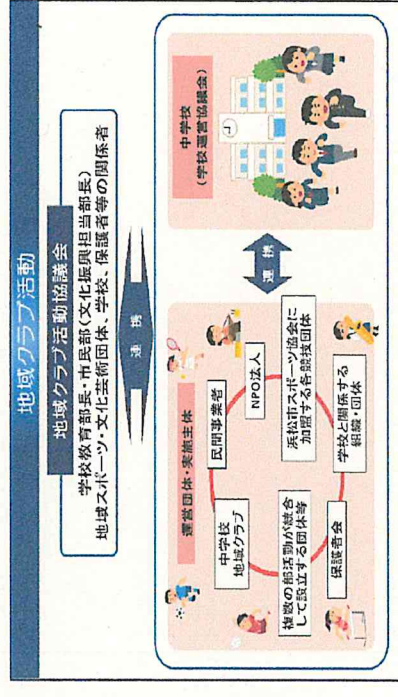
- 運営団体・実施主体
 - ・中学校地域クラブ、浜松市スポーツ協会に加盟する各競技団体、NPO法人、民間事業者などが考えられる。
 - ・生徒の志向や体力等の状況に適したスポーツ・文化芸術等に親しむ多様な活動を支援する。
- 指導者
 - ・運営団体・実施主体に属する構成員の他、スポーツ指導者、保護者、地域のスポーツ・文化芸術活動の経験者、部活動指導者の経験者などが考えられる。
 - ・質の保障という観点から、それを補完する研修等の実施について検討する。
 - ・公立学校の教師等については、教育委員会の兼職兼業の許可を得る必要がある。
- 活動場所
 - ・小中学校をベース拠点として位置付け、公共施設や民間施設等も活用する。
- 大会
 - ・学校部活動の参加者だけでなく、地域クラブ活動の参加者のニーズ等に応じて、持続可能な運営がされることが必要である。
- 費用
 - ・地域クラブ活動に参加する際には、受益者負担として、所属するスポーツ団体や文化芸術団体等に会費を支払うこととなる。
 - ・経済的に困窮する家庭の生徒の参加費用の支援等の取組を進める。
- 保険
 - ・災害共済給付制度の対象外であるため、生徒や指導者はスポーツ保険等に加入する必要がある。
- 学校との連携
 - ・地域クラブ活動と学校部活動との間で共通理解を図るとともに、関係者が生徒の活動状況に関する情報共有等を綿密に行い、生徒の望ましい成長を保障する。

段階的推進

- 令和8年度9月を目標に地域クラブ活動への移行が進められるように、令和5年度から令和8年度8月までを改革推進期間とする。地域の実情等に応じてできるところから地域移行を進めていく。
- ※ 改革推進期間では、児童生徒や保護者、教職員、関係団体等への実態調査を行い、その結果を基に、取組方針に示された市の方策を具体化する。



- ※ 令和8年度8月まで休日の部活動は現行どおり継続し、令和8年度9月以降、休日の部活動を地域クラブ活動に随時移行していく。



平日

◎平日の学校部活動は継続

学校部活動

【位置付け】学校教育の一環

指導者	教員・部活動指導員 ※外部指導者の参加は可能
場所	在籍する学校及び近隣施設
費用	用具・交通費等の実費
補償	災害共済給付

○学校部活動として大会に参加することは可能

その学校の生徒が参加

【基本理念】浜松市は、生徒の豊かなスポーツ・文化芸術活動の実現（持続可能な活動環境の構築）を目指します。

生徒が自由に活動を選択できます



休日

◎休日は「地域クラブ活動」へ移行

（体制が整わない場合は、「部活動指導員による学校部活動」を経て地域クラブ活動へ移行）

地域クラブ活動

【位置付け】社会教育の一環

運営団体 実施主体	中学校地域クラブ、スポーツ協会加盟団体、 NPO法人、吹奏楽連盟加盟団体、 総合型地域スポーツ・文化クラブ、 民間事業者 等
指導者	地域住民、指導を希望する教員（兼職兼業等）、 運営団体・実施主体が派遣する指導者 等
場所	学校施設、公共のスポーツ・文化施設、社会教育施設、 地域団体・民間事業者等有する施設 等
費用	会費、用具代、交通費 等
補償	各種保険 等

どの学校の生徒でも参加可能

学校部活動



その学校の生徒が参加

指導者	部活動指導員 ※外部指導者の参加は可能
場所	在籍する学校及び近隣施設
費用	用具・交通費等の実費
補償	災害共済給付

○部活動指導員は、単独の指導・引率が可能な市の会計年度任用職員

中学校は、学校運営協議会等で
「休日の部活動の地域移行のあり
方」について継続的に協議する。



浜松市
スポーツ庁・文化庁
ガイドライン
中学校部活動

【令和6年度 北部中学校アンケート（保護者用）】

一年 二年 三年 みどり

- ① あてはまる
② ややあてはまる
③ あまりあてはまらない
④ あてはまらない

学校は、『自分自身を「かけがえのない存在」であると思える生徒の育成』を意識した教育活動を推進している。

お子さんは、将来に夢や希望をもち、その実現に向けて努力している。

学校行事は、お子さんの成長をうながすものになっている。

お子さんは、家庭でも学習する時間を確保している。(平均2時間程度)

教員は、学力が身につくようなわかりやすい授業を行っている。

部活動は、お子さんにとって充実感を感じられるものであり、心身の成長にも役立っている。

お子さんは、気持ちのよいあいさつを進んで行っている。

学校は、命や社会のルールを守ることの大切さについて教えている。

お子さんは、節度をもってSNS等を利用している。(利用していない場合は空欄)

北中生は、登下校や家庭生活において、交通マナーをしっかりと守っている。

学校は、いじめのない集団作りに努めている。

教員は、生徒一人一人の理解に努めている。

学校は、三者面談等の充実にも努めており、相談しやすいと感じている。

学校は、家庭や地域と積極的に連携している。

学校は、情報をたよりやホームページなどでわかりやすく発信している。

お子さんの北部中学校での学校生活は充実している。

【令和6年度 北部中学校アンケート（生徒用評価項目）】

組 番号 名前

- ① あてはまる
② ややあてはまる
③ あまりあてはまらない
④ あてはまらない

私は、自分の将来に対し、夢や希望をもっている。

私は、自分のよいところを知っている。

私は、学校行事に積極的に取り組み、自分を高める(達成感を得る)ことができた。

私は、自分のあこがれる生き方について考えたり他の人の考えを聞いたりしている。

私は、授業に意欲的に取り組んでいる。

私は、家庭でも学習する時間を確保している。(平均2時間程度)

先生は、わかりやすく授業を進めている。

先生は、授業で、話し合ったり、友達と力を合わせて課題に取り組んだりする機会をしっかりと設けている。

先生は、授業で、自分の考えをまとめる機会をしっかりと設けている。

私は、部活動(校外活動)に目標をもって取り組んでいる(いた)。(無所属の生徒は空欄)

私は、気持ちのよいあいさつを進んで行っている。

私は、学校での自分の役割(委員、係、清掃等)に積極的に取り組んでいる。

私は、時間や学校のきまりを守り、規則正しい生活をしている。

私は、節度をもってSNS等を利用している。(使用していない場合は空欄)

私は、登下校や家庭生活において、交通マナーをしっかりと守っている。

私の学級、学校は、安心できる場所だと感じている。

先生は、学校生活の中で、自分によく声をかけてくれている。

私は、学習や生活等について、先生に相談しやすいと感じている。

私は、地域の行事やボランティア活動に積極的に参加している。

学校は、情報をたよりやホームページなどでわかりやすく発信している。

私は、北部中学校での学校生活は充実していると感じている。

北部中学校の生徒の行いで自慢できることは何ですか。